

# 2016年3月期 第3四半期 業績概要

橋本 裕一

アンリツ株式会社  
代表取締役社長 グループCEO

2016年1月29日



東証第1部 : 6754  
<http://www.anritsu.com>

**Anritsu**  
envision : ensure

# 注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。



表紙の右イメージ図は、1912年、アンリツの前身、安中電機が製作した元祖スマホとも呼ぶべきTYK無線電話機です。

## 目次

### I. 2016年3月期第3四半期 業績概要

I - 1. 事業概要

I - 2. 連結決算概要

I - 3. 2016年3月期 通期業績予想（連結）

### II. その他

II - 1. 当期利益とDOE 5年間の推移

II - 2. T&M事業 FY2016以降の取り組み

# I - 1. 事業概要

## T&M事業

開発・製造・建設・保守用

- ▶ モバイル市場 : LTE, 3G
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



## PQA事業

- ▶ 食の安全・安心
- ▶ X線異物検出機
- ▶ 重量選別機



## その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率)      2015年3月期 実績 (連結) : 988億円

<b>T&amp;M 74%</b>			<b>PQA 16%</b>	<b>その他 10%</b>
<b>モバイル 50%</b>	<b>ネットワーク・インフラ 30%</b>	<b>エレクトロニクス 20%</b>		

(T&M事業 地域別売上比率)

<b>日本 15%</b>	<b>アジア、パシフィック 35%</b>	<b>米州 30%</b>	<b>EMEA 20%</b>
-------------------	---------------------------	-------------------	---------------------

T&M: Test & Measurement      PQA : Products Quality Assurance

## I - 2. 連結決算概要 - 事業別状況 -

セグメント	2016年3月期第3四半期（4月-12月）の状況
<b>▶ T&amp;M : モバイル市場は投資抑制が続く</b>	
モバイル	チップ・端末ベンダーの設備投資抑制継続
NW	光デジタル関連への設備投資堅調
エレクトロニクス	モジュール開発・業務用無線で回復基調
アジア	モバイルのR&D需要は増加するも、 製造設備の更改需要は鈍化
米州	通信キャリアの建設投資抑制が続く
<b>▶ PQA : 国内コンビニ市場中心に設備投資が増加</b>	

T&M: Test & Measurement

NW: Network Infrastructure

PQA : Products Quality Assurance

## I - 2. 連結決算概要 - 業績サマリー -

▶ 売上は前年並みを確保するも、受注進捗は前年を下回る

(単位：億円)

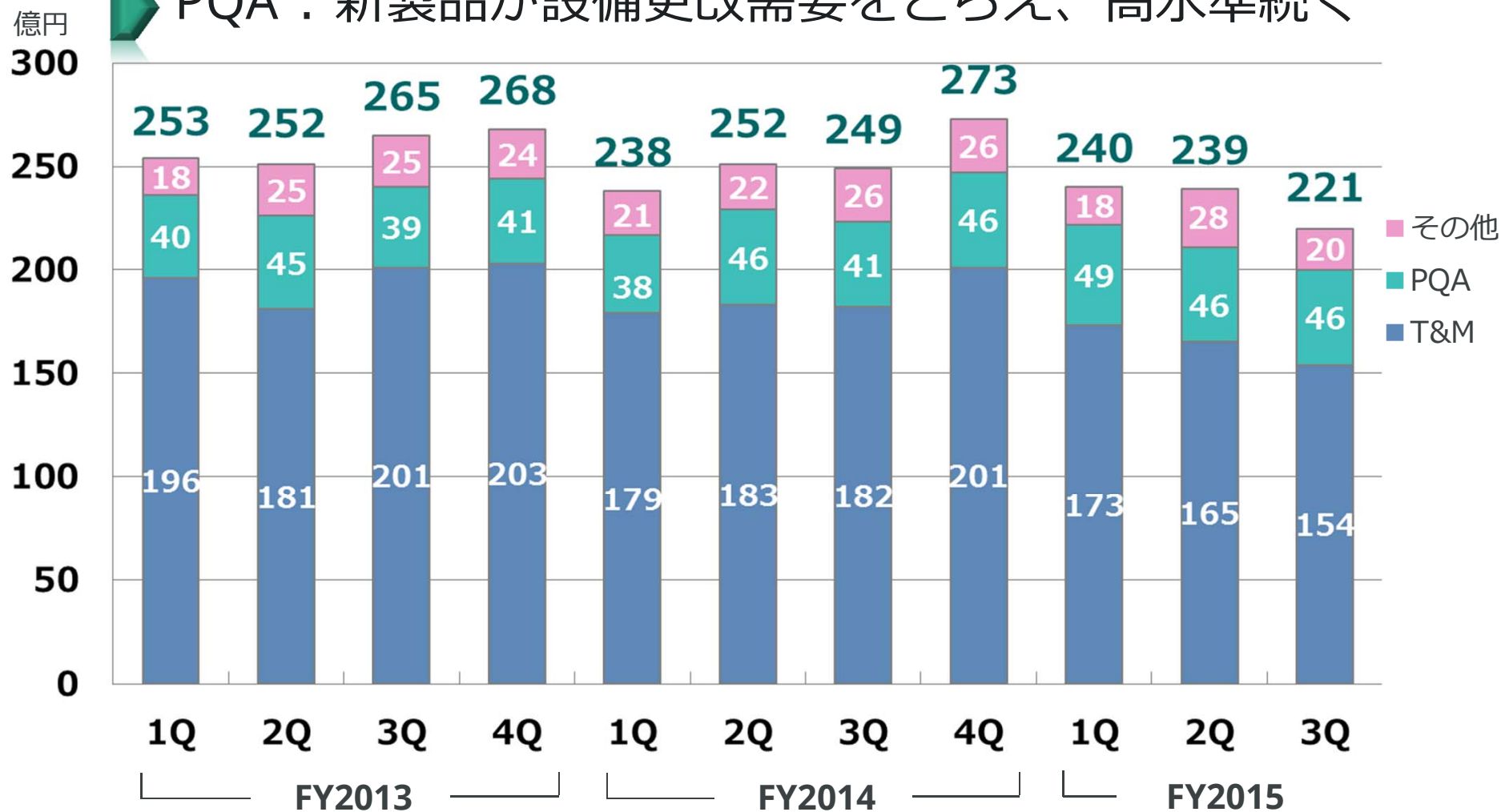
国際会計基準(IFRS)	前第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	当第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	738	699	△ 39	△ 5%
売上高	718	722	4	0%
営業利益	73	52*	△ 21	△ 29%
税引前利益	80	51	△ 29	△ 36%
当期利益	56	39	△ 17	△ 30%
当期包括利益	94	42	△ 52	△ 55%
フリーキャッシュフロー	9	△ 7	△ 16	-

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

\*リストラ費用約5億円含む

## I - 2. 連結決算概要 - 受注高推移 -

- T&M：投資抑制が継続し、第2四半期比6%減少
- PQA：新製品が設備更改需要をとらえ、高水準続く



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## I - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	当第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	547	527	△ 20	△ 4%
	営業利益	65	48*	△ 17	△ 27%
PQA	売上高	112	137	25	22%
	営業利益	2	9	7	462%
その他 (含：内部消去)	売上高	60	58	△ 2	△ 2%
	営業利益	6	△ 5	△ 11	-
合計	売上高	718	722	4	0%
	営業利益	73	52*	△ 21	△ 29%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

\*リストラ費用約5億円含む

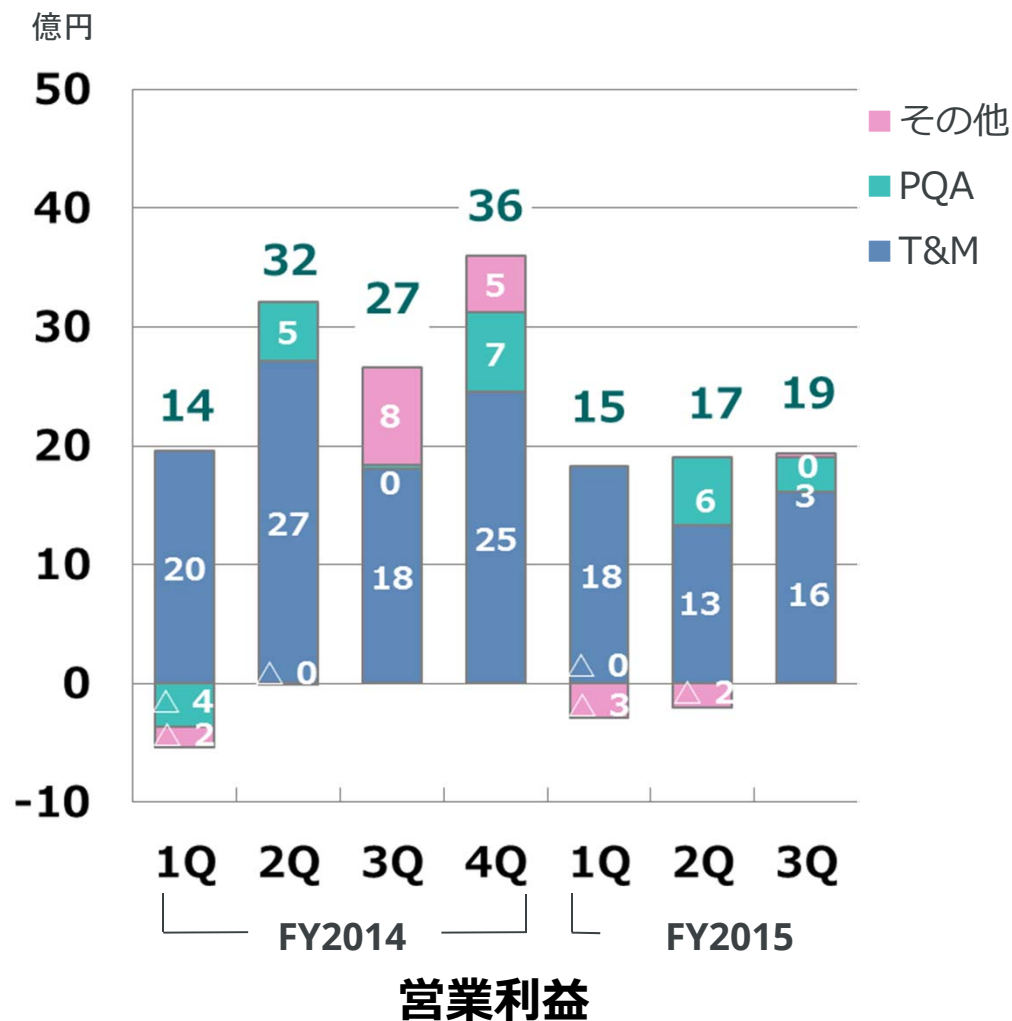
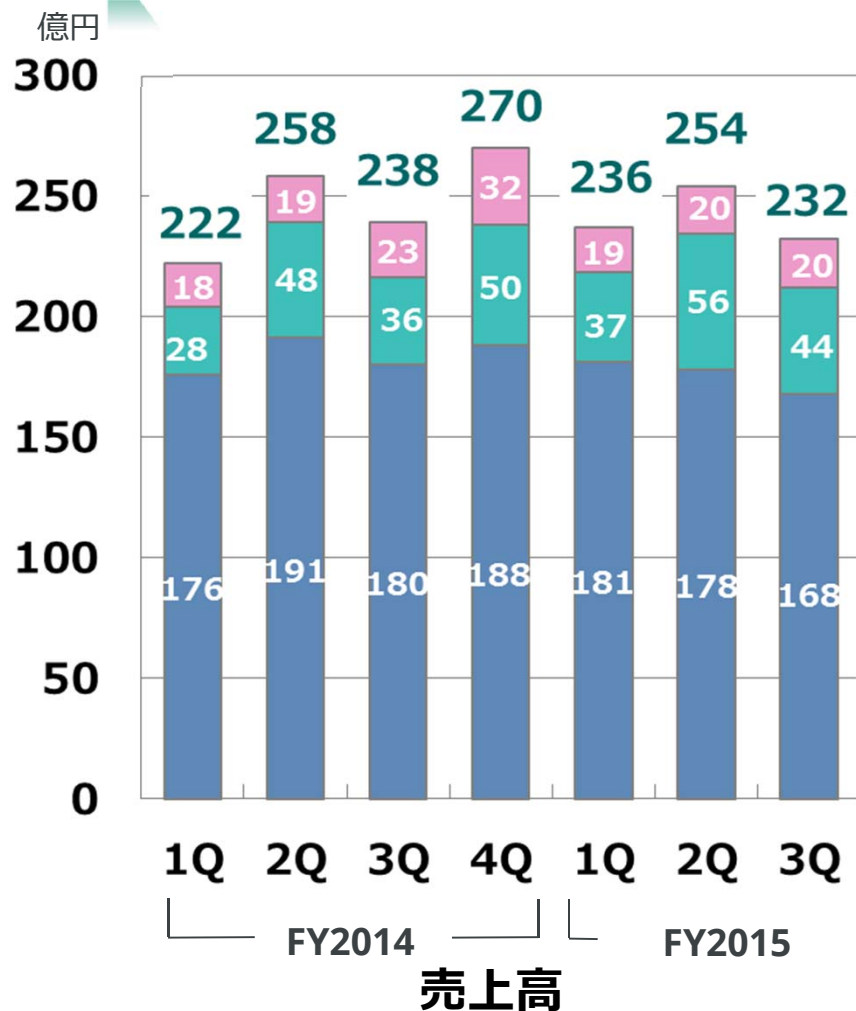
T&M: Test & Measurement

PQA : Products Quality Assurance



## I - 2. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

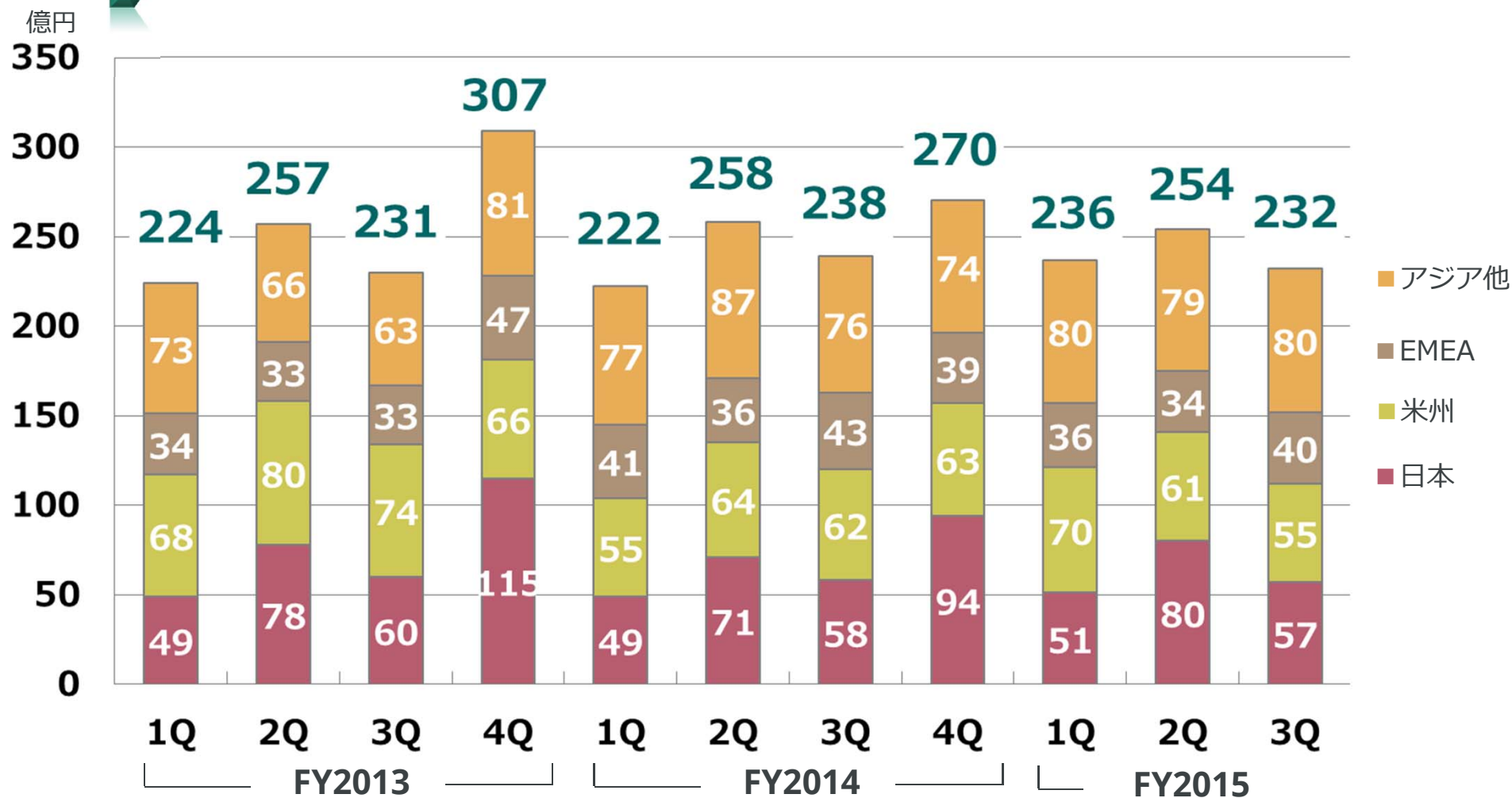
▶ 第3四半期の営業利益率 8.4% T&M 9.5% PQA 6.7%



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## I - 2. 連結決算概要 - 地域別売上高推移 -

▶ 前年第3四半期比、アジアで増収



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

# I - 2. 連結決算概要 - キャッシュフロー -

▶ 営業CFマージン率9%

## FY2015 Q3 (累計)

- ①営業CF： 66億円
- ②投資CF： △ 72億円
- ③財務CF： 24億円

**フリーキャッシュフロー**  
(① + ②) : △ 7億円

**現金同等物期末残高**  
367億円

**有利子負債高**  
220億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入



# I - 3. 2016年3月期 通期業績予想 (連結)

## ▶ 連結売上利益業績予想を下方修正

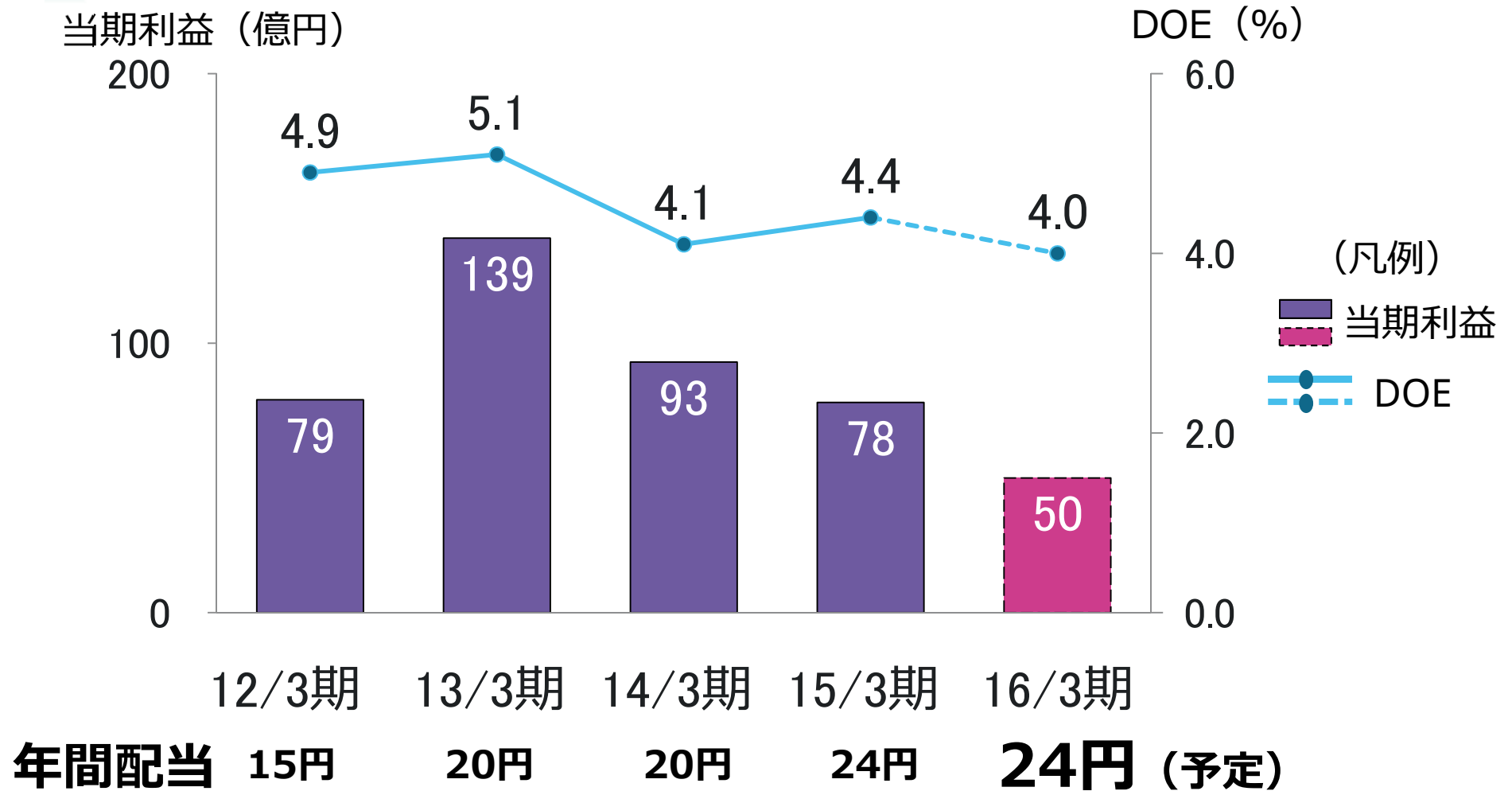
(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		2015/3期	2016/3期			
		前期実績	通期予想		前期比	
			4/27発表	今回	増減額	増減率(%)
売上高		988	1,030	980	△ 8	△ 1%
営業利益		109	110	72	△ 37	△ 34%
税引前利益		116	109	70	△ 46	△ 40%
当期利益		79	80	50	△ 29	△ 37%
T&M	売上高	734	750	700	△ 34	△ 5%
	営業利益	89	90	60	△ 29	△ 33%
PQA	売上高	162	180	190	28	17%
	営業利益	8	11	12	4	46%
その他 (含：内部消去)	売上高	92	100	90	△ 2	△ 2%
	営業利益	11	9	0	△ 11	△ 100%

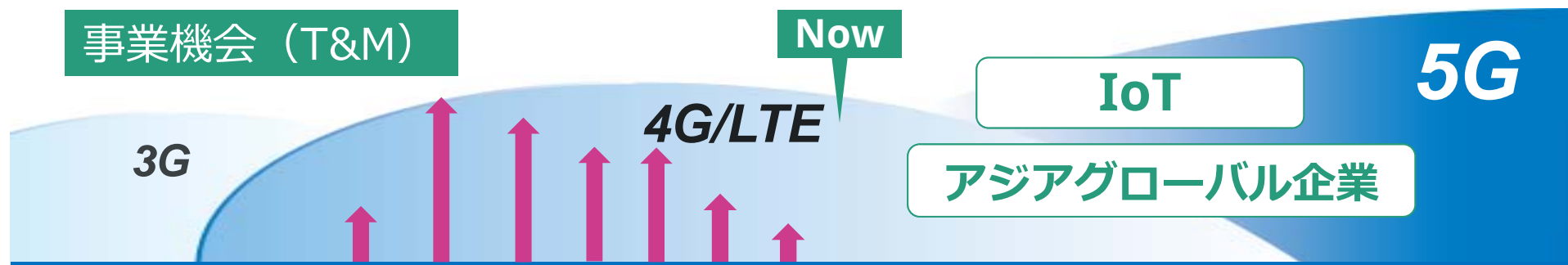
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入 (参考) 第4四半期 想定為替レート：1米ドル115円、1ユーロ=130円

## II - 1. 2016年3月期 配当予想

▶ 配当予定は変更なし（年間24円：うち期末配当12円、DOE4%）



## II - 2.T&M事業 FY2016以降の取り組み



スマートフォン出荷台数の伸び率

### 利益創出に向けた取り組み

- ▶ グローバル市場の構造変化への積極対応でシェア拡大
- ▶ ネットワークリシェーピング関連投資の取り込み
- ▶ データコムおよびデータセンター市場拡大への対応
- ▶ コストコントロールの徹底

IoT/5G関連への積極的な投資



**Anritsu**  
envision : ensure

